

愛知県環境影響評価審査会田原風力発電部会 会議録

1 日時 2021年(令和3年)6月3日(木)午後1時30分から午後2時30分まで

2 場所 愛知県庁本庁舎 6階 正庁

3 議事

- (1) 部会長の選任について
- (2) (仮称)新田原臨海風力発電所 環境影響評価方法書について
- (3) (仮称)あつみ第二風力発電事業 環境影響評価方法書について
- (4) その他

4 出席者

(1) 委員

【オンライン出席】

生田委員、佐野委員、鷺見委員、中野委員、夏原委員、西田委員、葉山委員、
吉永委員

(以上8名)

(2) 事務局

環境局：

小野技監、加藤環境政策部長

環境局環境政策部環境活動推進課：

谷口課長、戸田担当課長、鈴木課長補佐、国立主査、中村主任、大島技師

(以上8名)

(3) 事業者等

4名

【オンライン出席】7名

(以上11名)

5 傍聴人

なし

6 会議内容

(1) 開会

(2) 議事

ア 部会長の選任について

- ・ 資料1について、事務局から説明があった。
- ・ 部会長について、夏原委員が互選により選出された。
- ・ 部会長代理について、夏原部会長が佐野委員を指名した。
- ・ 会議録の署名について、夏原部会長が中野委員と葉山委員を指名した。

イ (仮称)新田原臨海風力発電所 環境影響評価方法書について

- ・ 資料2から資料5について、事務局から説明があった。

<質疑応答>

- 【鷺見委員】説明いただいた部会報告（案）の水質の部分について、異論はない。
- 【葉山委員】部会報告（案）の猛禽類に対する内容について、適切に対応されていると思われる。部会報告案について、了解した。
- 【夏原部会長】事務局から説明のあった部会報告（案）について、特段、修正を要する意見はないため、この案のとおり部会報告としてよろしいか。

（委員から意見等はなし）

【夏原部会長】異議なしとされたので、このまま部会報告とする。

- ・ 資料5の「（仮称）新田原臨海風力発電所 環境影響評価方法書についての部会報告（案）」を、このまま部会報告とすることで了承された。

- ウ （仮称）あつみ第二風力発電事業 環境影響評価方法書について
 - ・ 資料6から資料9について、事務局から説明があった。

<質疑応答>

- 【吉永委員】砂浜に設置されている風力発電施設の事例を紹介いただいたが、砂浜に特有のトラブル、故障、不具合はあるのか。
- 【事務局】先ほど説明した20カ所の風力発電施設の具体的な故障等の状況は把握していない。
- 【吉永委員】今後、砂浜に設置された風力発電施設の故障等の状況が分かれば、報告していただきたい。
- 【夏原部会長】主に植生への影響を想定して、砂浜に設置されている風力発電施設について、調べるように求めた。北海道大学の研究者が、銭函風力発電所の事後調査に関わっているが、残存植生について大きな被害は生じていないようである。ただ、外来生物が増えたようであるので、他の事例もしっかり調べて、今後の対策を検討していただきたい。
- 【事業者】銭函風力発電所の事業者に対して、事後調査等の内容を問い合わせているところである。本事業に、他事例の事後調査等の内容を反映できると考えており、適切に対応していきたいと考えている。また、外来生物については、影響がないように配慮して事業を計画していきたいと考えている。
- 【鷺見委員】部会報告（案）の冒頭の部分に、事業計画に対する意見が記載されている。今回は方法書の手続きであり、調査、予測、評価の方法について検討する段階であり、審査側としては方法について審査し、意見を述べるものと理解している。
- 本事業の周辺には、既設や計画中の風力発電施設が存在しており、鳥類の渡りに対して障壁になるおそれがあり、リスクが高いと考えている。今回は関係市長意見でも事業計画に対する意見が述べられており、それについては問題ないと思われるが、方法書段階で事業計画について意見を述べてよいものか、制度の観点から教えていただきたい。
- 【事務局】環境影響評価手続は、配慮書、方法書、準備書、評価書の順に手続が進む。配慮書手続では、重大な影響を回避、低減する観点から事業計画の複

数案について予測、評価を行い、それに対して意見を述べていくこととなる。方法書手続は、調査、予測、評価の方法について検討する手続であり、準備書手続は、具体的な調査、予測、評価等を行った結果を取りまとめた図書を作成し、それに対して意見を述べていくこととなる。

法律上の規定では、知事意見は環境の保全の見地からの意見であるので、事業計画について環境影響が懸念される場合は、どの手続段階でも事業計画について環境の保全の見地からの意見を述べることはできると考えており、そのような考えで、本事業に対する部会報告案を作成している。

【鷺見委員】意見の考え方について、承知した。今回の部会報告（案）については、このまま進めていただいてもよいと思う。準備書段階において、事業計画が実際にどのように対応されたのか、確認したいと思う。

【夏原部会長】事務局から説明のあった部会報告（案）について、特段、修正を要する意見はないため、この案のとおり部会報告としてよろしいか。

(委員から意見等はなし)

【夏原部会長】異議なしとされたので、このまま部会報告とする。

- ・ 資料9の「（仮称）あつみ第二風力発電事業 環境影響評価方法書についての部会報告（案）」を、このまま部会報告とすることで了承された。

エ その他

- ・ 特になし。

(3) 閉会